

これからの時流適応型 物流企業経営

- ①情報化社会においては、できるだけ多くの案件創出手段を持たなくてはならない。
- ②セキュリティ強化社会においては、プル型(問い合わせ獲得型)の案件創出手段を強化しなくてはならない。
- ③検索社会においては、やはりホームページを媒体の中で最も重視しなくてはならない。
- ④選択化社会においては、企業や事業は明確な特長(独自固有の長所)を持たなくてはならない。
- ⑤本物化社会においては、情報発信力(量と質)を強化しなくてはならない。
- ⑥市場縮小化社会においては、既存顧客の安定化・固定化に力を入れなくてはならない。
- ⑦ネットワーク化社会においては、顧客や協力会社と共に成長していくシクミを構築しなければならない。
- ⑧環境重視社会においては、環境企画を提案できなければならない。

お問い合わせ先

株式会社 船井総合研究所

第三経営支援部 環境・農業グループ

シニアコンサルタント 橋本 直行

〒100-0005

東京都千代田区丸の内一丁目6-6

日本生命丸の内ビル 21階

TEL. 03-6212-2931

FAX. 03-6212-2947

Eメール. nao-hash@funaisoken.co.jp (橋本)